



取扱説明書 基本ガイド パーソナルコンピューター

品番 CF-QVシリーズ

(Windows 10)

この冊子は

『基本ガイド』

です。

初めにお読みください

本書は、お買い上げ後、初めてWindowsの操作を始めるまでの手順やリカバリーディスクの作成手順、修理を依頼する際のアフターサービスについて説明します。

- 安全上のご注意
- 本機について
- 付属品の確認
- Windowsのセットアップ
- 別売り商品
- 仕様
- 保証とアフターサービスなど

本機には、この冊子以外にも下記のような冊子や画面で見るマニュアルがあります。目的に応じてご利用ください。


『取扱説明書 活用ガイド』



- 使用上のご注意事項
- 詳しい操作
- 各種設定
- 再インストールなど

『取扱説明書 操作マニュアル』

『取扱説明書 Windows 入門ガイド』

- 本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき
- ネットワークの接続について
- セキュリティ機能について知りたいとき
- 初めてお使いになる方に
- 困ったときのQ&A
- ※ は画面で見るマニュアルのマークです。
- ※ 起動方法は『取扱説明書 活用ガイド』の「画面で見るマニュアルの見方」をご覧ください。

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本体の品番は、本体底面の品番表示でご確認ください。

もくじ

安全上のご注意	3
法規情報など	7
本機について	9

最初のステップ


1 付属品の確認	9
2 各部の名称と働き	10
3 バッテリーパックを取り付ける	14
4 電源を入れる	15
5 Windowsをセットアップする	17
セットアップの前に	17
Windows 10のセットアップ	18
Microsoftアカウントに切り替えるには	25
6 リカバリーディスクを作成する	27
7 アプリケーションをセットアップする	33

確認する

Bluetoothについて	35
ワイヤレスWANについて	37
別売り商品	38
仕様	39
電源プラン一覧	48
ソフトウェア使用許諾書	49
保証とアフターサービス(よくお読みください)	51
消耗品・有寿命部品について	53

※イラストや機能、画面、仕様など本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

表記について

-  は画面で見るマニュアルのマークです。
- 本書では、指定がない限り「Windows 10 Pro (日本語版)」を「Windows」または「Windows 10」と表記します。
- 本書では、フラッシュメモリードライブを「SSD」と表現する場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を区分して説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



バッテリーパックの液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



禁止

- 火中に投入したり加熱したりしない
- 火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない
- プラス (+) とマイナス (-) を金属などで接触させない
 - ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない
- 変形させたり、分解・改造をしたりしない
- 落下させたり強い圧力を加えたりするなどの衝撃を与えない
 - 強い衝撃が加わった場合は、すぐにコンピューターから取り外す
- 水に濡れたバッテリーパックを使用しない



- 指定の方法で充電する
- 必ず、指定のバッテリーパックを使用する
 - 指定 (付属および指定の別売り商品) 以外のバッテリーパックを使用しない
- 付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する
 - ・ 本シリーズ専用のバッテリーパックです。
- 劣化したり、ひどく膨張したりしたら新品と交換する
 - 劣化したり、ひどく膨張したりしたバッテリーパックを使用し続けない
- 異常または故障時には直ちに使用をやめる
 - バッテリーパックの外観に変形や破損が見られる場合や、煙が出ている、異臭がする、異常に熱いなどの異常が起きたら、すぐにコンピューターから取り外す



警告

火災・感電の原因になります。



禁止

- 電源コード・電源プラグ・AC アダプターを破損するようなことはしない
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない
→ 傷んだまま使用しない
・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない
→ たこ足配線などを避け定格を超えないようにする
- めれた手で電源プラグの抜き挿しはしない
- 分解や改造をしない
・本体内の部品をお客さまが交換することはできません。修理は、販売店にご相談ください。
- 電源ケーブルなどが接続されている場合、雷が鳴り始めたら、本機に触れない
- 本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない
→ 内部に異物が入った場合は電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店に修理について相談する



- 異常・故障時には直ちに使用をやめる
以下のような異常が起きたらすぐに電源を切って電源プラグとバッテリーパックを抜く
・破損した・内部に異物が入った・煙が出ている・異臭がする・異常に熱い
→ 上記の処置後、販売店に修理について相談する
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる
・プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良になります。
- 電源プラグは根元まで確実に挿し込む
→ 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に電源を切る
・ガスに引火するおそれがあります。

やけどや、低温やけど^{*1}の原因になります。



禁止

- 長時間直接接触して使用しない
→ 本機の温度の高い部分に長時間、直接接触して使用しない
・低温やけどの原因になります。
- 長時間通風孔（排気）からの温風にあたらぬ
・本体の向きや持ち方によっては、温風が手や体にあたりやすくなります。
・また、通風孔（排気）を手などでふさぐと、内部に熱がこもり、やけどなどの原因になります。
- 使用中・充電中は、AC アダプターの表面に触れ続けない
・やけどの原因になります。
- 電源オンのまま鞆やケースに入れない
・電源が切れていない状態で鞆やケースに入れると、本体が高温になり、やけどの原因になります。



警告

身体に悪影響を及ぼします。



禁止

■ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

(ワイヤレスWAN搭載モデルのみ)

■SIMカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

- ➔ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師に相談してください

本機からの電波が周囲に影響を与える場合があります。



禁止

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

- 自動制御機器の誤動作による事故の原因になります。



■航空機内では電源を切る^{※2}

- ➔ 航空機内での使用については、航空会社の指示に従う
- 運行の安全に支障をきたすおそれがあります。

■病院内や医用機器のある場所では電源を切る^{※2}

- ➔ 手術室、集中治療室、CCU^{※3}などには持ち込まない
- 医用電気機器に影響を与えることがあり、誤動作による事故の原因になります。



■満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、電源を切る

- ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から15 cm以上離す

- ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

※1 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人(高齢者)などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

※2 やむをえずこのような環境で本機を使用する場合は、(画面左下のをクリック)- (設定)-[ネットワークとインターネット]-[機内モード]をクリックし、[機内モード]を「オン」にしてください。ただし、航空機の離着陸時など、無線の電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

※3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

火災・感電の原因になることがあります。



禁止

- 電源プラグを接続したまま移動しない
 - 電源コードが傷ついたら、すぐに電源プラグを抜いて販売店に相談する
- LANコネクタに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない
 - 以下のようなネットワークや回線を接続しない
 - ・ 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T 以外のネットワーク
 - ・ 電話回線 (IP電話、一般電話回線、内線電話回線 (構内交換機)、デジタル公衆電話など)
- ACアダプターに強い衝撃を加えない
 - 落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用し続けない
 - ACアダプターの修理は販売店に相談する
- 高温の場所に長時間放置しない
 - ・ 火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながる可能性があります。
- 通風孔 (排気) をふさがない
 - 布などでくるんだり、布団や毛布などの上で使用したりしない
- 水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない



- 電源コードは、プラグ部分を持って抜く
- 必ず指定のACアダプターを使用する
 - 指定 (付属および指定の別売り商品) 以外のACアダプターを使用しない

倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



禁止

- 不安定な場所に置かない
- 本機の上に重いものを置かない

身体に悪影響を及ぼすことがあります。



- 1時間ごとに10～15分間の休憩をとる
 - ・ 長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

法規情報など

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B
2-J-3

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

3-J-1-1

日本国内で無線LAN/Bluetoothをお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえで、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS/OF4

この機器が、2.4 GHz周波数帯(2400から2483.5 MHz)を使用する直接拡散(DS)方式/直交周波数分割多重方式(OF)の無線装置で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

2.4FH3

この機器が、2.4 GHz周波数帯(2400から2483.5 MHz)を使用する周波数ホッピング(FH)方式の無線装置で、与干渉距離が約30 mであることを意味します。

25-J-2-1

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

無線LANをお使いになる場合のお願い

- 電波法の規制により、無線LANの5 GHz帯の内、一部の帯域で使用に制限があります。
- W53は屋外で使用できません。
- W52は高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除いて、屋外で使用できません。
- お客様が2.4 GHz帯11nモードで無線LANをお使いの際には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、無線LANのデバイス・プロパティで802.11nチャンネル幅を20 MHzに設定してください。

43-J-3



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に
関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効
です。

本製品を廃棄したい場合は、日本国内の
法律等に従って廃棄処理をしてください。

36-J-1



<製品に上記ロゴの表示があるモデル>

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。本製品の電力管理の初期設定は国際エネルギースタープログラムに準拠した設定になっていますので、初期設定のまま使用することをおすすめします。国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

<製品に上記ロゴの表示がないモデル>

本製品は国際エネルギースタープログラムに登録されていません。

22-J-2

重要なお知らせ

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、航空機内設備、その他人命にかかわる機器/装置/システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器/装置/システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療診断目的で画像を表示することを意図しておりません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障/修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化/消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、『取扱説明書 活用ガイド』の「使用上のお願い」(➡7～14ページ)の内容に注意してください。

- 本書や『取扱説明書 活用ガイド』、付属印刷物等の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書や『取扱説明書 活用ガイド』、付属印刷物等の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り換えします。
- 本書や『取扱説明書 活用ガイド』、付属印刷物等のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書や『取扱説明書 活用ガイド』、付属印刷物等のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

本機について

本機は以下の仕様になっています。

- ディスプレイにタッチパネルを搭載していません。
- タブレットスタイルには対応していません。
- 別売り商品の「保護フィルム」は不要です。

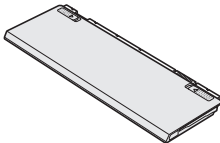
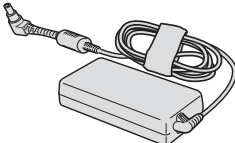
そのため、次の冊子や画面で見るマニュアルでは上記の仕様に合わせて読み替えてください。

- 『取扱説明書 活用ガイド』
- 📖『取扱説明書 操作マニュアル』

最初のステップ

1 付属品の確認

- 付属品が足りなかったり、購入したものと異なったりした場合は、ご相談窓口にご連絡ください（⇒裏表紙）。数量の記載がない場合は各1個付属しています。
- 別売り商品をお求めの際は、別売り商品（⇒38ページ）の品番をご確認のうえ、ご注文ください。

バッテリーパック※1	ACアダプター	その他
 品番：CF-VZSU1MJS	 品番：CF-AA6412A または 品番：CF-AA64L2C	<ul style="list-style-type: none">●電源コード※2●保証書●取扱説明書 基本ガイド（本書）●取扱説明書 活用ガイド●修理依頼書 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Microsoft® Office インストール済みモデルのみ</div> <ul style="list-style-type: none">●Officeについて●Officeのプロダクトキーカード 以下はキーボードの上にあります。 <ul style="list-style-type: none">●必ずお読みください●4年間無償保証の登録について

※1 バッテリーパックの品番は、バッテリーパック底面に記載されていますのでご確認ください。

※2 付属の電源コードは、CF-AA6412A、CF-AA64L2C以外の製品などに転用しないでください。

28-J-1

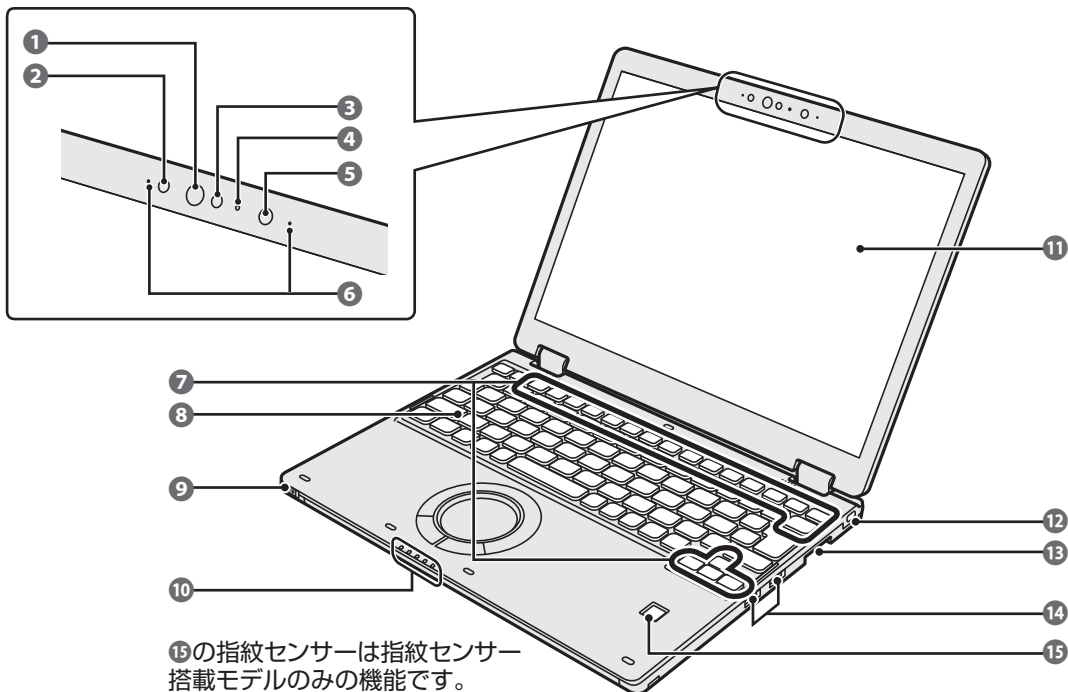
重要

- リカバリーディスク（リカバリー DVD）は付属していません。
 - Windowsのセットアップ終了後、速やかにリカバリーディスクを作成してください。リカバリーディスクの作成については、27ページをご覧ください。






Microsoft® Office インストール済みモデルのみ

- Officeのプロダクトキーカードは商品です。紛失しても弊社では再発行できませんので、お客さまご自身で大切に保管してください。

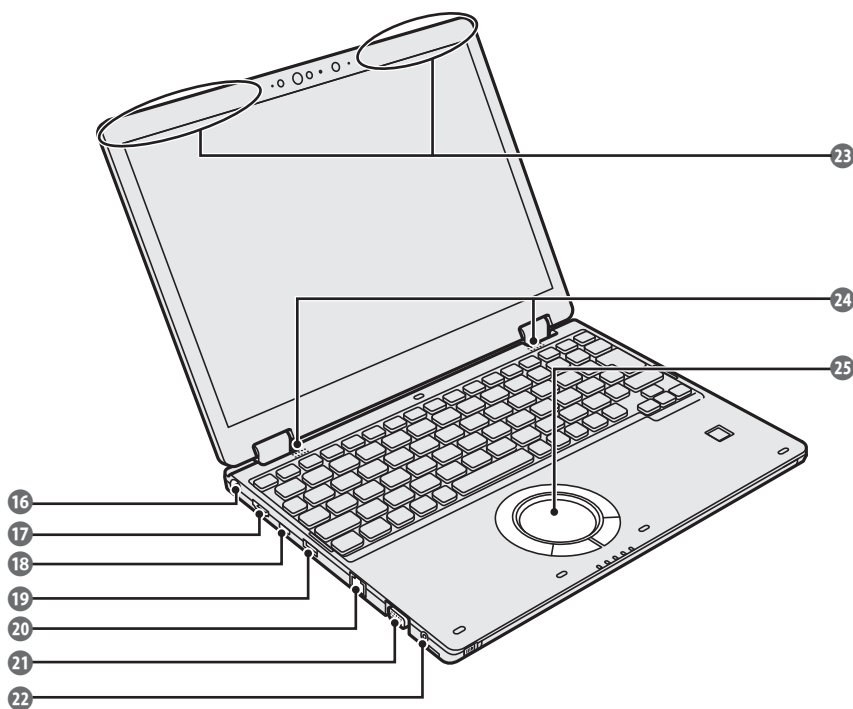
2 各部の名称と働き







名 称		働き / 参照先
①	IRライト	Windows Helloの顔認証を行うときに点灯します。 点灯中は、ライトが熱くなります。
②	顔認証対応カメラ	Windows Helloの顔認証に対応します。 →『取扱説明書 操作マニュアル』「レッツノート活用」の「カメラの使い方」
③	カメラ	動画や静止画を撮影します。 →『取扱説明書 操作マニュアル』「レッツノート活用」の「カメラの使い方」
④	カメラ動作状態表示ランプ	カメラが動作状態のとき点灯します。
⑤	照度（明るさ）センサー	周囲の明るさを検知して画面の明るさなどを自動調整します。 →『取扱説明書 活用ガイド』「デスクトップ画面の表示について」の「画面の明るさの自動調整」
⑥	マイク	音声を入力します。
⑦	ファンクションキー	[Fn]と組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 →『取扱説明書 活用ガイド』の「Fnキーを使う」
⑧	内蔵キーボード	—
⑨	電源スイッチ / 電源状態表示ランプ	スイッチをスライドすると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 (電源状態表示ランプ → 13ページ / 電源スイッチ → 『取扱説明書 活用ガイド』の「電源を入れる / 切る (再起動する)」)
⑩	状態表示ランプ	→ 13ページ
⑪	ディスプレイ	明るさ調整: [Fn] + [F1] (暗くする) / [Fn] + [F2] (明るくする) →『取扱説明書 活用ガイド』「デスクトップ画面の表示について」の「画面の明るさを調整する」

名 称		働き/参照先
12	セキュリティスロット	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。セキュリティスロットおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。
13*	SDメモリーカードスロット 	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード専用です。 →  『取扱説明書 操作マニュアル』「周辺機器」の「SD/SDHC/SDXCメモリーカードを使う」
14*	USB3.0 Type-Aポート 	USB機器を接続します。USB1.1/2.0/3.0に対応しています。 →  『取扱説明書 操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を接続する」
15	指紋センサー (指紋センサー搭載モデルのみ)	指紋認証機能を使用します。 →  『取扱説明書 操作マニュアル』「レッツノート活用」の「指紋センサーの使い方」

※SDメモリーカードやUSBメモリー（市販品）などの小物を、乳幼児が誤って飲み込むことのないよう、置き場所にご注意ください。

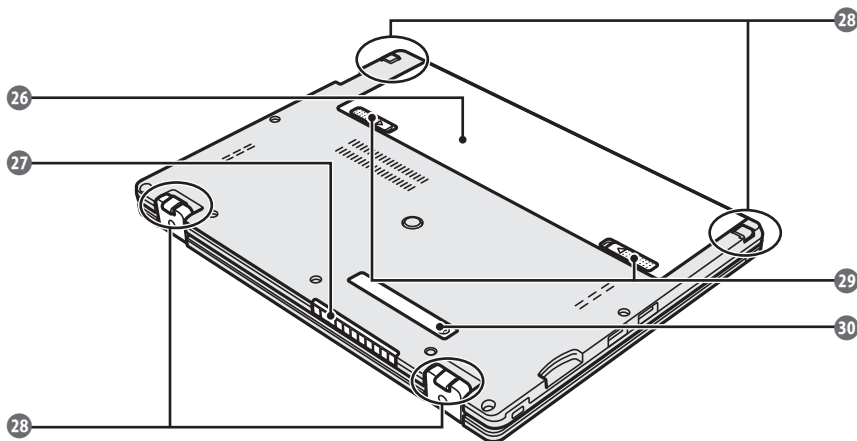



名 称		働き/参照先
16	電源端子 DC IN	ACアダプターを接続します。
17	HDMI出力端子 	HDMI対応ディスプレイ（テレビや液晶ディスプレイ）を接続します。 →  『取扱説明書 操作マニュアル』「周辺機器」「外部ディスプレイを使う」の「HDMIケーブルで接続する」
18*	USB3.1 Type-Cポート 	USB機器を接続します。下記の規格に対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> • USB3.1 (Gen 1/2) • Thunderbolt™ 3 • USB Power Delivery • DisplayPort Alternate Mode →  『取扱説明書 操作マニュアル』「周辺機器」

2 各部の名称と働き

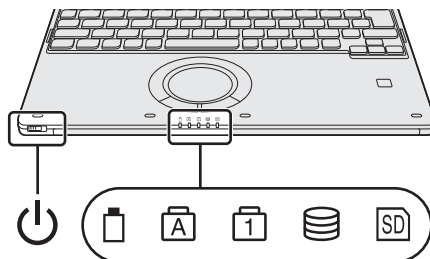
名称		働き/参照先
19*	USB3.0 Type-A ポート (常時給電機能 付き) <small>SS+ CHARGE</small>	USB 機器を接続します。USB 1.1/2.0/3.0に対応しています。 → 『取扱説明書 操作マニュアル』「周辺機器」の「USB 機器を接続する」 上記の働きに加え、設定を行うとパソコン本体の電源が入っていない状態でも USB 機器に充電します。 → 『取扱説明書 操作マニュアル』「周辺機器」の「USB 機器を充電する」
20	LANコネクター 品	LANケーブルを接続します。 → 『取扱説明書 操作マニュアル』「ネットワークに接続する」の「LANで 接続する」
21	外部ディスプレイ コネクター 品	アナログディスプレイのケーブルを接続します。 → 『取扱説明書 操作マニュアル』「周辺機器」「外部ディスプレイを使う」の 「VGAケーブルで接続する」
22	ヘッドセット端子 品	市販のヘッドセットまたはヘッドホンを接続します。
23	無線用アンテナ (内蔵)	無線通信用のアンテナが内蔵されています。 → 『取扱説明書 操作マニュアル』「無線機能」
24	スピーカー	・ 音量調整 : [Fn] + [F5] (小さくする) / [Fn] + [F6] (大きくする) ・ スピーカーのオン/オフ : [Fn] + [F4]
25	ホイールパッド	→ 17ページ → 『取扱説明書 操作マニュアル』「ポインティングデバイス/キーボード」





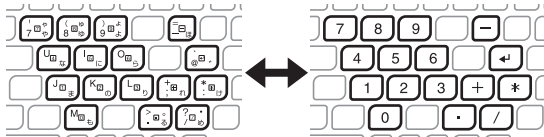



※ USB メモリー (市販品) などの小物を、乳幼児が誤って飲み込むことのないよう、置き場所にご注意ください。



名称		働き/参照先
26	バッテリーパック	→ 『取扱説明書 操作マニュアル』「バッテリー」 バッテリーパックの取り付け/取り外しの方法は、「バッテリーパックを取り 付ける」(→ 14 ページ) をご覧ください。
27	通風孔 (排気)	内部の熱を逃がします。
28	フットラバー	使用状況に合わせて、先端部を起こしたり畳んだりできます。
29	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。 取り外すときは、ロック解除  の方向にスライドしてロックを解除します。
30	ダストカバー	→ 『取扱説明書 活用ガイド』「使用上のお願い」の「お手入れ」

<状態表示ランプ>



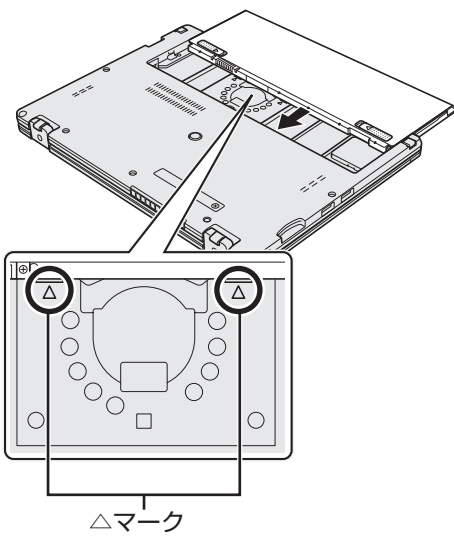
名称	状態/参照先
電源状態表示ランプ 	<ul style="list-style-type: none"> 消灯：電源オフまたは休止状態 点灯：電源オン 点滅：スリープ状態（モダン スタンバイ） <p>工場出荷時の設定では、内部LCDの明るさに合わせて電源状態表示ランプの明るさも変わります。セットアップユーティリティの「メイン」メニューの [LED輝度] を [減光] に設定すると常に暗くすることができます。 (→『取扱説明書 活用ガイド』の「セットアップユーティリティ」) スリープ状態（モダン スタンバイ）または休止状態から復帰するには、電源スイッチをスライドしてください。</p>
バッテリー状態表示ランプ 	<ul style="list-style-type: none"> 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 オレンジ色点灯/明滅：充電中（温度が高く、バッテリー残量が多いときに、充電を停止する場合があります。また、点灯時は、バッテリー残量を正確に算出するため、ACアダプター接続時に短時間、充電を停止する場合があります） 緑色点灯：充電完了 赤色点灯：残量約9%以下 赤色点滅、オレンジ色点滅、緑色点滅：『取扱説明書 活用ガイド』「バッテリーのQ&A」をご覧ください。
Caps Lockランプ (キャップスロック) 	<p>[Shift] を押しながら [Caps Lock] を押すと点灯します。解除するには、もう一度 [Shift] を押しながら [Caps Lock] を押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 点灯：大文字 消灯：小文字
NumLockランプ (ナムロック/ テンキーモード) 	<p>[NumLk] を押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。解除するには、もう一度 [NumLk] を押します（ランプ消灯）。 セットアップユーティリティの「内蔵テンキーモード」を「Fnキー」にしている場合は、ランプ点灯時に [Fn] を押しながらキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 (→『取扱説明書 活用ガイド』の「セットアップユーティリティ」)</p> <p style="text-align: center;">テンキーモード</p>  <p> の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。</p>
SSDアクセスランプ 	SSDへのアクセス時に点灯します。
SDメモリーカード状態表示ランプ 	SD/SDHC/SDXCメモリーカードへのアクセス時に点灯します。

3 バッテリーパックを取り付ける

重要

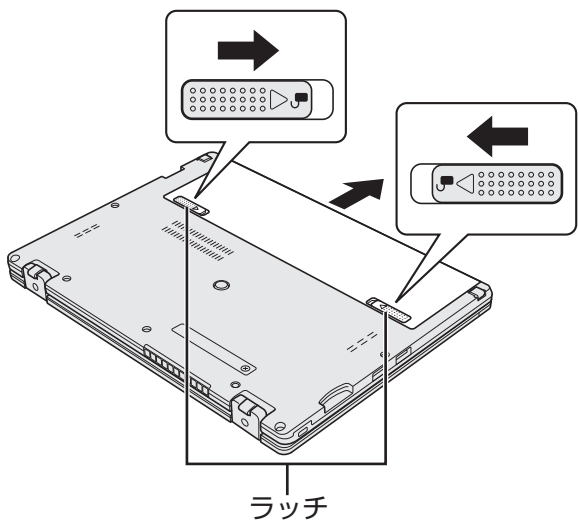
- 左右のラッチが正しくロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。
- バッテリーパックや本機のコネクター部分に触れないでください。汚れ、損傷などで接触が悪くなると、充電が正しく行われなかったり、本機が正しく動作しなかったりする場合があります。

- **バッテリーパックの取り付け方**
 本体を裏返し、バッテリーパックを△マークに合わせて、矢印の方向にスライドして取り付ける。



- **バッテリーパックの取り外し方**
 ※ 取り外し前に、電源状態表示ランプが消灯していることを確認するなどして、必ず本機の電源が切れていることを確認してください。

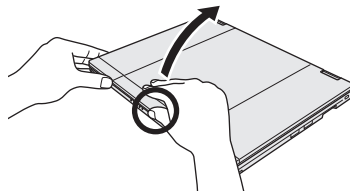
左右のラッチをロック解除  の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。



4 電源を入れる

1 ディ스플레이を開く

パソコンの側面に手を添え、O印の部分を持ってディスプレイを開く。



重要

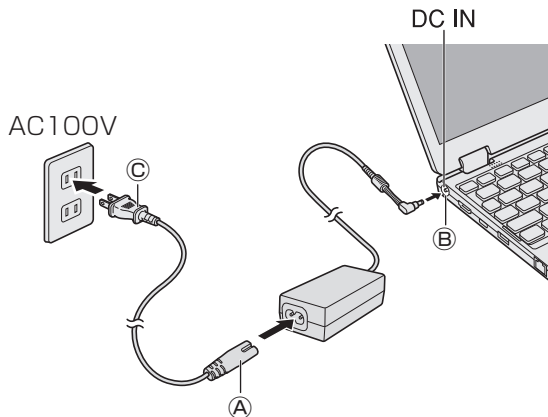
- ディ스플레이を175°以上開いたり、必要以上の力を加えないでください。
- ディ스플레이を開閉する際は、右図のO印の部分（キャビネット部）をお持ちください。液晶部分の端を持って開閉すると、液晶が破損する場合があります。
- ディ스플레이を開くときにパソコンが浮く場合は、側面などに手を添えて開いてください。



2 パソコンを電源に接続する

- ① 電源コードとACアダプターを接続する。
電源コードのプラグ部(A)を持ち、まっすぐに奥までしっかりと押し込んでください。接続時に固くて押し込みづらいことがあります。故障ではありません。
- ② ACアダプターをパソコン本体の電源端子(B)に接続する。
- ③ 電源コードの電源プラグ(C)をコンセントに接続する。

バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、自動的に充電が始まります。




重要

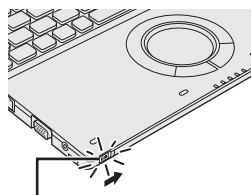
- 本書で説明しているWindowsのセットアップが完了するまで、ACアダプターは抜かないでください。
- バッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。
- 通風孔（排気）から出る熱風をケーブルに当てないでください。


4 電源を入れる

3 電源を入れる

電源スイッチ  をスライドし、電源状態表示ランプが点灯したら手を離します。

- 電源スイッチを4秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。





電源スイッチ /
電源状態表示ランプ 

本機では、ソフトウェアの更新により将来的な製品の品質向上のために、ご使用中の製品から情報を、個人を特定できない形でサーバーへ収集を行う場合があります。その際に発生する通信費用はお客様のご負担となります。情報の活用や、通信費用の詳細については下記ホームページをご参照ください。



<https://panasonic.biz/cns/pc/info/re-mo/index.html>

この機能を無効にするには、次の手順を操作してください。

- ① (画面左下の ) をクリック) -  (設定) - [アプリ] - [アプリと機能] をクリックする。
- ② アプリケーションの一覧から [Log Manager for Panasonic PC] をクリックして、[アンインストール] をクリックする。
- ③ 確認画面で、[アンインストール] をクリックし、[はい] をクリックする。



重要

- 電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたり、電源状態表示ランプが点滅したりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。
- 本機では、フラッシュメモリードライブ (SSD) の管理情報などがフラッシュメモリードライブ (SSD) 内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。これらの情報は、万が一フラッシュメモリードライブ (SSD) が故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。
この機能を無効にするには、Windowsのセットアップが終わった後に、PC情報ビューアーの [ハードディスク使用状況] の [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする] のチェックボックスにチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。
詳しくは、Windowsのセットアップが終わった後に、 『取扱説明書 操作マニュアル』 [レックノート活用] の「パナソニックからの必要な情報を確認する」および  『困ったときのQ&A』 [サポート情報/使用状況を調べる] の「本機の使用状態を確認したい」をご覧ください。
- PC情報ポップアップとは別に、弊社からの緊急のお知らせの有無を確認し、ご案内する場合があります。インターネットに接続するとき、定期的にパナソニックのホームページを確認し、緊急のお知らせがある場合は告知画面を表示します。また万一、リコール対象 (弊社が無償で点検・修理、または交換などを行うこと) になった場合は、発火や火災などの事故を回避するため、事前にお知らせを行ったうえで、一部の機能 (充電機能など) を停止または制限する場合があります。

5 Windowsをセットアップする

所要時間：約20分

セットアップの前に

- Windowsを使用できるようになるまで、必ずACアダプターを接続した状態にしておいてください。
- LANケーブルなど、ACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。
- 無線LANやワイヤレスWANに接続しないでください。

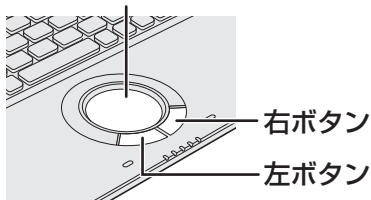
- Windowsのセットアップが完了するまで、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。セットアップが正しく動作しない場合があります。

ホイールパッドの基本操作

マウスと同じように、ポインターを動かしたり機能を選択したりします。

Windowsのセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択(クリック)には、ホイールパッドの操作面と左ボタンを使います。

操作面(ホイールパッド)



機能	操作		
ポインターを動かす		指先を操作面で動かす。	
タップ/クリック/右クリック	タップ 	クリック 	右クリック
ダブルタップ/ダブルクリック	ダブルタップ 	または	ダブルクリック
ドラッグ		または	
スクロールする		または	

1回タップしてから素早く指先で操作面をこする。

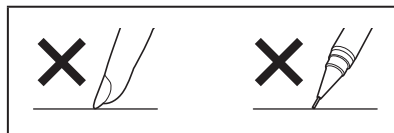
ボタンを押しながら指を移動させる。

下方向/右方向
ホイールパッドの端から円を描くようになぞる。
横スクロールは、ご使用前に初期設定が必要です。
→ 『取扱説明書 操作マニュアル』「ポインティングデバイス/キーボード」

上方向/左方向

重要

- 操作面にものを置いたり、爪など先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作したりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。



メモ

- タップしたときにポインターが飛ぶ場合は、ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。詳しくは、付属の『取扱説明書 活用ガイド』「ホイールパッドを使う」をご覧ください。

5 Windowsをセットアップする

Windows 10のセットアップ

- Windowsを使用できるようになるまで、必ずACアダプターを接続した状態にしておいてください。
- LANケーブルなど、ACアダプター以外の周辺機器は接続しないでください。
- 無線LANやワイヤレスWANに接続しないでください。

- Microsoft® Windows® 10は、アップデートにより画面表示や操作手順が変更になる場合があります。

Windows 10に関する最新情報は、次のWebページをご覧ください。

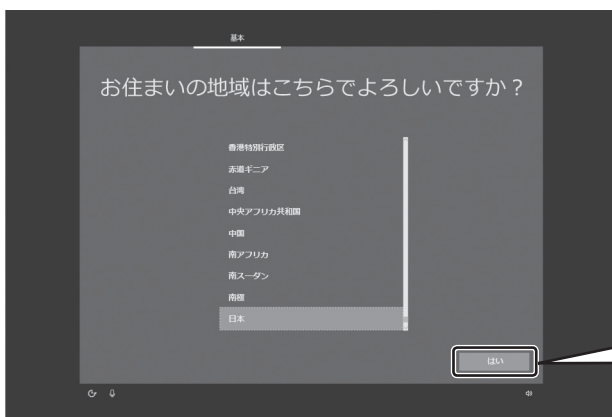
<https://askpc.panasonic.co.jp/addendum/>



重要

- 電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたり、電源状態表示ランプが点滅したりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

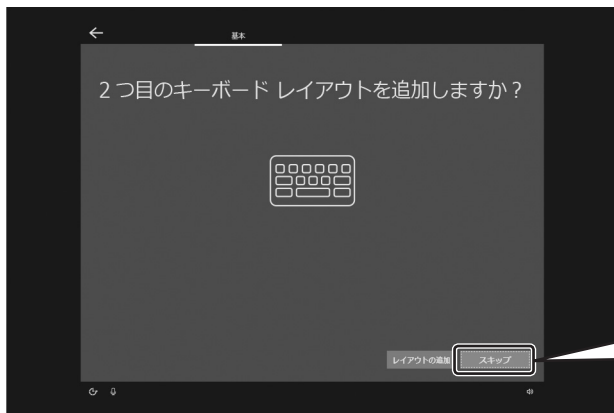
セットアップが開始されます。



1 設定を変更せずに[はい]をクリック。



2 [はい]をクリック。



3 [スキップ]をクリック。

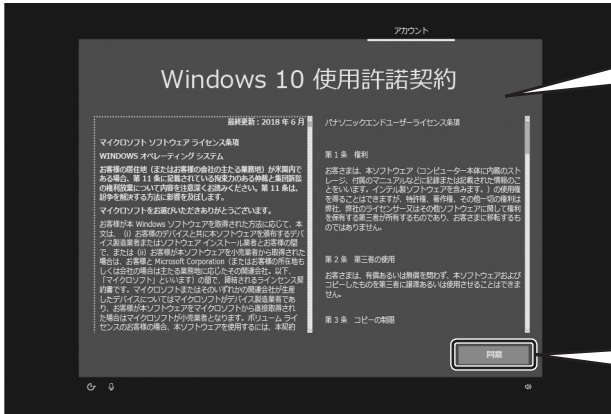


4 「ネットワークに接続しましょう」は、「インターネットに接続していません」をクリック。
ネットワーク接続は、Windows セットアップ後に行う。



5 [制限された設定で続行する]をクリック。

5 Windowsをセットアップする



6 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項、パナソニックエンドユーザーライセンス条項をよく読む。

7 [同意]をクリック。



8 ユーザー名をキーボードで入力する。

ユーザー名には半角英数字のみ入力することをお勧めします。
全角文字（たとえば、漢字、ひらがな、全角カタカナ、全角英数、全角スペースなど）や半角スペースを使用すると、アプリケーションによっては正しく動作しないことがあります。また、以下の文字は使用しないでください。
&、CON、PRN、AUX、CLOCK\$、NUL、COM1～COM9、LPT、LPT1～LPT9

9 [次へ]をクリック。

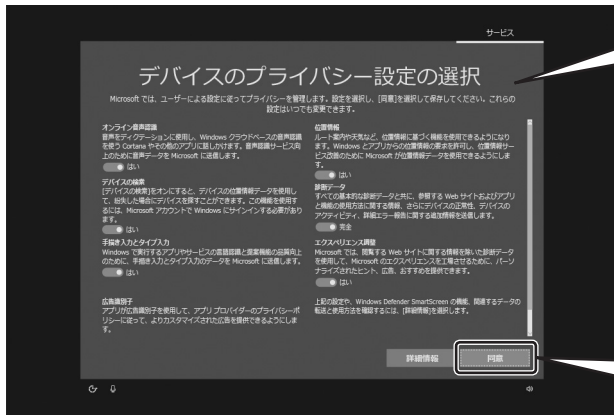


10 [次へ]をクリック。
パスワードは後で設定してください。

この画面の設定は後で変更可能

最初のステップ

5 Windowsをセットアップする



11 内容をよく読んで、設定します。

12 [同意]をクリック。



13 「アクティビティの履歴を利用してデバイス間でより多くのことを行う」は、[いいえ]または[はい]をクリック。

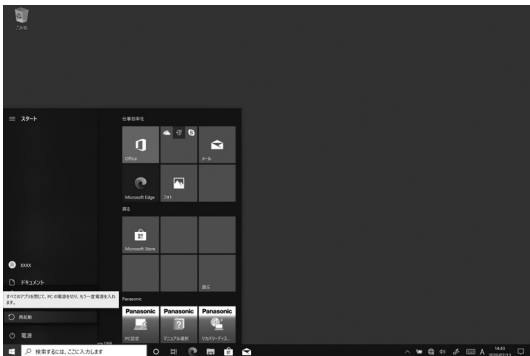


14 「Cortanaによる作業の支援を許可する」は、[今は実行しない]または[同意]をクリック。

以上の設定が完了したら、Windowsが起動するまで、画面などを操作せずにそのままお待ちください。この間、ACアダプターを抜いたり電源を切ったりしないでください。

5 Windowsをセットアップする

- 15** Windowsが起動します。
- 「Microsoft Edgeへようこそ」の画面が表示されますので、「始める」のボタンをクリックして、画面の指示に従ってください。
- 16** 再起動する。(⇒『取扱説明書 活用ガイド』「電源を入れる/切る (再起動する)」)



- Panasonic PC設定ユーティリティの一部の機能は、再起動後に有効になります。
- 速やかにリカバリーディスクを作成してください。(⇒27ページ)



メモ

- Microsoft® Windows® 10は、アップデートにより画面表示や操作手順が変更になる場合があります。Windows 10に関する最新情報は、次のWebページをご覧ください。
<https://askpc.panasonic.co.jp/addendum/>
- 機器の構成、操作手順によっては取扱説明書に記載の手順と異なる画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って必要な操作を行ってください。
- セキュリティ対策として、ウイルス対策ソフトのご利用をお勧めします。詳しくは、『取扱説明書 操作マニュアル』「セキュリティ」の「ウイルスの感染を防ぐ」をご覧ください。
- インターネットの設定については、『取扱説明書 操作マニュアル』「ネットワークに接続する」をご覧ください。





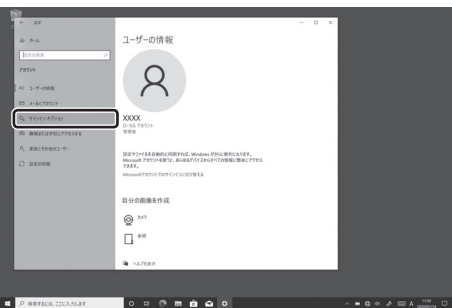
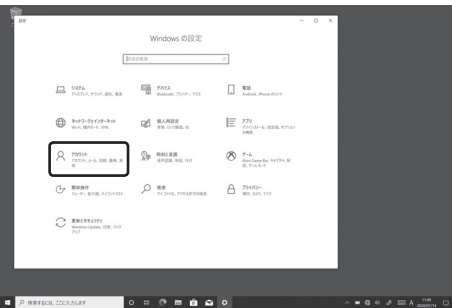
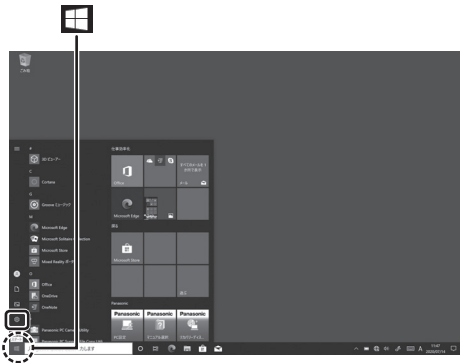
Windows 10の設定を変更する

Windowsのセットアップ時にパスワードを設定する場合は、セットアップ完了後、次の手順で変更できます。

●パスワードを設定する

次の手順で設定してください。

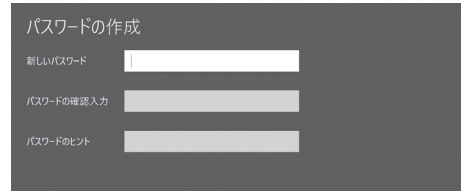
- 1 (画面左下のをクリック)- (設定)-[アカウント]-[サインイン オプション]をクリックする。



- 2 [パスワード]の[追加]をクリックする。

- 3 画面に従ってパスワードをキーボードで入力する。

パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。



- 4 パスワードを忘れたときのために、自分だけにわかる、パスワードを思い出すためのヒントを入力し、「次へ」をクリックする。




- 5 「完了」をクリックする。



パスワードの設定はこれで完了です。



メモ

- Windows Hello (顔認証・指紋認証・暗証番号)を設定するには、『取扱説明書 操作マニュアル』「セキュリティ」の「サインイン オプションを設定する」をご覧ください。

5 Windowsをセットアップする




- スリープ状態(モダンスタンバイ)/休止状態からリジュームしたときに毎回パスワードの入力画面を表示させるには、次の設定を行ってください。

Windows Helloをセットアップした場合は、本設定は不要となります。

- ①(画面左下のをクリック)- (設定)-[アカウント]-[サインイン オプション]をクリックする。
- ②[サインインを求める]を「毎回」に設定する。





メモ

-  を押しながら  を押してキャップスロックにしていたり、 を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにサインインできなくなります。

画面で見るマニュアルを更新する

- 1 ネットワークに接続し、管理者のユーザーアカウントでサインインする。

詳しくは  『取扱説明書 操作マニュアル』「ネットワークに接続する」をご覧ください。


- 2 (画面左下のをクリック)-[Panasonic PC マニュアル選択ユーティリティ]-[更新を確認]をクリックする。

以降は画面に従って更新してください。

フラッシュメモリードライブの表記について

本機はハードディスクドライブの代わりにフラッシュメモリードライブ(SSD)が取り付けられています(ハードディスクドライブは取り付けられていません)。

本機の設定メニューや『取扱説明書 活用ガイド』、

 『取扱説明書 操作マニュアル』などに記載の「ハードディスク」および「ハードディスクドライブ」を「フラッシュメモリードライブ」と読み替えてください。

たとえば、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューに表示される「ハードディスク保護」はフラッシュメモリードライブ(SSD)のデータの読み書きを制限する機能を指します。

(➡『取扱説明書 活用ガイド』の「セットアップユーティリティ」)



メモ

- フラッシュメモリードライブ(SSD)の寿命を延ばすには、フラッシュメモリードライブ(SSD)への書き込み回数を減らすことが有効な手段になります。Windows 10では、フラッシュメモリードライブ(SSD)が搭載されていることを認識し、自動的に最適化します。設定などを行う必要はありません。

Microsoft アカウントに切り替えるには

Microsoft アカウントについて

Microsoft アカウントとは、マイクロソフト社が提供している各種サービスを利用するために必要なアカウントのことです。

Microsoft Office やストア (Microsoft Store)、クラウドサービスなどは、この Microsoft アカウントがないと利用できません。

Microsoft アカウントで Windows にサインインすれば、マイクロソフト社が提供している各種サービスに一括でサインインできるので便利です。



- Microsoft アカウント作成で困ったとき
Microsoft アカウントに切り替える操作については、マイクロソフト社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

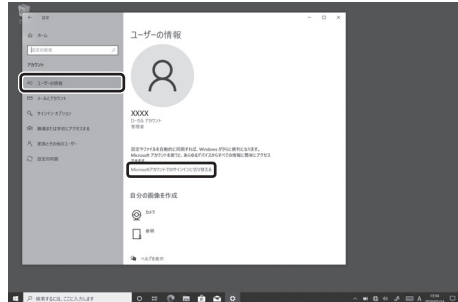
日本マイクロソフト株式会社 サポート窓口

- ※ お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。
電話番号：0120-54-2244
受付時間：月～金 / 9:00～18:00、
土・日 / 10:00～18:00
(祝日、指定休業日を除く)
マイクロソフト コミュニティ
URL：<https://answers.microsoft.com/ja-jp/>

Microsoft アカウント切り替え方法

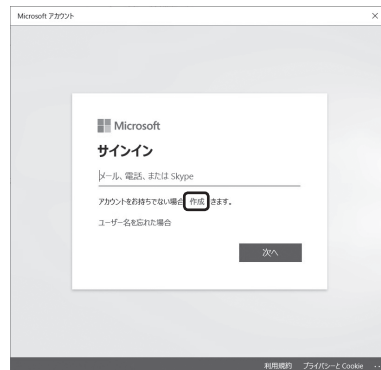
インターネットに接続して行います。

- 1 (画面左下の  をクリック) -  (設定) - [アカウント] をクリックする。
- 2 [ユーザーの情報] - [Microsoft アカウントでのサインインに切り替える] をクリックする。



- 3 「Microsoft アカウント」画面の [作成] をクリックする。

すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合は、サインインしてください。



- 4 画面の指示に従って必要事項を入力する。

重要

- 設定した Microsoft アカウントとパスワードは絶対に忘れないようにメモに取り、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。



5 Windowsをセットアップする

- 5 「ユーザーの情報」画面に戻ったら、作成したMicrosoftアカウントが表示されていることを確認する。



- 他のパソコンやタブレットで取得済みのMicrosoftアカウントに切り替えた後など、このパソコンを快適にお使いになるために、本人確認を行う必要がある場合があります。「確認する」をクリックし、その後は画面の指示に従って操作してください。

重要


- Microsoftアカウントでサインインすると、「デバイスの暗号化」が「オン」(有効)になります。
(画面左下の  をクリック) -  (設定) - [更新とセキュリティ] - [デバイスの暗号化]
- デバイスの暗号化がオンの場合、パソコンの設定変更などをした後や修理で部品交換を行った際などに、回復キーが必要になる場合があります。(「回復キー」は、Microsoftアカウントに保存されます)
回復キーを確認する方法は、下記ホームページをご参照ください。
<https://windows.microsoft.com/recoverykey>
- Microsoftアカウントでサインインした場合は、回復キーをできるだけ早く確認することをお勧めします。
回復キーがないとデバイスの暗号化が解除できなくなり、Windowsの再インストール(お買い上げ時の状態に戻す)が必要となります。

Microsoft® Officeインストール済みモデルのみ

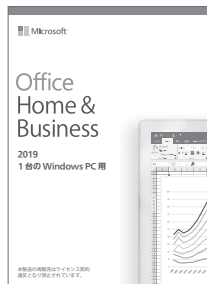
Officeを使用する

WordやExcelなど、Microsoft Officeのアプリケーションを初めてお使いになるときは、Microsoftアカウントを使用して、セットアップを行います。インターネットに接続して、プロダクトキーの設定やライセンスの認証などが必要です。

■ セットアップする

- 1 画面左下の  をクリックし、Officeアプリをクリックする。

- 2 本製品に付属するOfficeのプロダクトキーカードに記載されているプロダクトキーを入力する。



以降、画面の指示に従って操作してください。

Microsoft® Office Home and Business 2019は、日本マイクロソフト株式会社にてサポートを行っております。製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。
<https://support.office.com/>

6 リカバリーディスクを作成する

所要時間：約60分
(DVD-R 8倍速で作成した場合)

Windowsの再インストールについて

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりすると、Windowsの再インストールが必要になる場合があります。

本機のSSDには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があり、通常はこのリカバリーデータを使って、SSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。詳しくは『取扱説明書 活用ガイド』の「再インストールする」をご覧ください。

重要

- リカバリーディスクはWindowsのセットアップ終了後、速やかに作成してください。誤ってリカバリー領域を削除などしてしまった場合は、再インストールすることができません。リカバリーディスクがないとお買い上げ時の状態に戻すことができず、修理対応になります。

リカバリーディスク作成ユーティリティについて

本機には、お買い上げ時の状態に戻すためのリカバリーディスクを作成できる「リカバリーディスク作成ユーティリティ」がインストールされています。リカバリーディスクはUSBメモリー（市販品）、またはDVDディスク／ブルーレイディスクで作成します。「リカバリーディスクを作成する」(→28ページ)の手順で作成します。

使用できるディスクなどの準備

- USBメモリー（市販品）は32 GB以上を推奨します。
必要なUSBメモリー（市販品）の容量については、「リカバリーディスクを作成する」の手順⑥（→29ページ）の画面で確認してください。
(SCSIと認識するUSBメモリー（市販品）(UASP : USB Attached SCSI Protocol)は使用できません)

- 使用できるディスクの種類は次の表をご覧ください。
「データ用」および「録画用」どちらでも使うことができますが、必ず未使用のディスクを準備してください。

使用できるディスクの種類
DVD-Rまたは+R（1層） DVD-R DLまたは+R DL（2層）
必要なディスクの枚数については、「リカバリーディスクを作成する」の手順⑥（→29ページ）の画面で確認してください。

- 動作確認済み（推奨）のディスクなどについて
外付け光学式ドライブ（市販品）を準備してください。
光学式ドライブを使ってDL（2層）のディスクをお使いになる場合は光学式ドライブがDL対応であることをご確認ください。
動作確認済みの光学式ドライブの最新情報については、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
<https://askpc.panasonic.co.jp/work/>
動作確認済みの光学式ドライブに関するご不明な点は「パナソニックパソコンお客様ご相談センター」へご相談ください。
(→裏表紙)
動作確認済み（推奨）のディスクについては外付け光学式ドライブ（市販品）の説明書をご覧ください。
推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。

6 リカバリーディスクを作成する


リカバリーディスクを作成する

重要

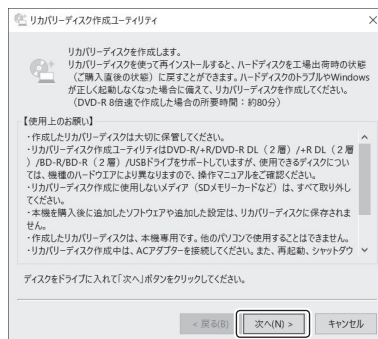
- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- USB Power Delivery対応のACアダプターは使用できません。
- LANケーブルや周辺機器、SDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
- 自動的に起動するアプリケーションソフトは終了してください。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、Windowsの設定画面でオフに切り替えてください。
- USB Power Deliveryのみの給電時には、リカバリーディスクは作成できません。
- DVD-R 8倍速で作成した場合の所要時間は数十分程度ですが、書き込み速度やシステム設定、使用するディスクにより変動します。時間に余裕を持って作成してください。
- リカバリーディスクの作成を中断した場合、リカバリーディスク作成ユーティリティが終了するまでしばらく時間がかかります(約10分)。そのままお待ちください。リカバリーディスク作成ユーティリティが終了した後、Windowsを再起動し、最初からやり直して作成してください。ディスクの書き込み中に中断すると、書き込み中のディスクは使用できなくなります。中断したディスクと同じ種類の未使用の新しいディスクを用意してください。
- リカバリーディスク作成中は次のことを行わないでください。リカバリーディスクが作成できなくなります。
 - Windowsの終了や再起動
 - スリープ状態/休止状態機能の使用
 - 外付け光学式ドライブのドライブ文字の変更
 - 外付け光学式ドライブの取り外し

メモ

- リカバリーディスク作成後でもSSD内のリカバリーデータを使って再インストールすることができます。
- SSDのバックアップや復元、パーティションの変更などを行うための市販のアプリケーションソフトをインストールしていると、SSDの一部が書き換わってしまい、リカバリーディスクが作成できない場合があります。リカバリーディスクは、これらのアプリケーションソフトをインストールする前に作成されることをお勧めします。

- 1 ACアダプターを接続する。
 - USB Power Delivery対応のACアダプターは使用できません。
 - リカバリーディスクを作成する場合、外付け光学式ドライブ(市販品)、またはUSBメモリー(市販品)を本機に接続してください。接続のしかたについては、外付け光学式ドライブ、またはUSBメモリー(市販品)の説明書をご覧ください。
- 2 パソコンを再起動し、管理者のユーザーアカウントでサインインする。
- 3 未使用のディスクまたはUSBメモリー(市販品)をセットする。
- 4 (画面左下の)をクリック-[Panasonic PC リカバリーディスク作成ユーティリティ]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、アプリ名が「不明なプログラム」と表示されることがありますが、そのまま[はい]をクリックしてください。
- 5 画面の注意事項をよく読み、[次へ]をクリックする。



(画面は一例です)

6 画面に表示されたディスクの必要枚数を準備して[次へ]をクリックする。

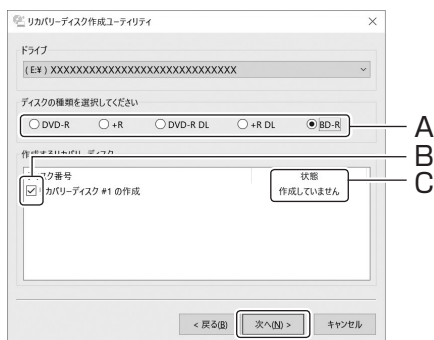


(画面は一例です)

7 使用する外付け光学式ドライブまたはUSBメモリー (市販品) を選ぶ。



8 作成するリカバリーディスクにチェックマークが付いていることを確認し、[次へ]をクリックする。

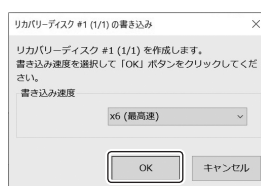


(画面は一例です)

- A: ディスクでリカバリーディスクを作成する場合、使用するディスクの種類をクリックします。ディスクの種類を間違えると、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。
- B: ディスクでリカバリーディスクを作成する場合、作成するリカバリーディスクの枚数が表示されます。
- リカバリーディスク作成ユーティリティを初めて起動したときは、すべての項目にチェックマークを付けたままにしてください。
- C: 作成途中で終了したときなどやり直す場合は、[状態]に現在の作成状況が表示されます。
- [完了しました]と表示されている場合：該当のリカバリーディスクの作成が完了しています。
 - [失敗の記録があります]と表示されている場合：前回途中で終了したため、作成に失敗しています。最初からやり直してください。

リカバリーディスク作成の準備が始まります。そのままお待ちください。準備が終わると、「リカバリーディスク #1 の書き込み」画面が表示されます。

9 ディスクでリカバリーディスクを作成する場合、書き込み速度を選び、[OK]をクリックする。

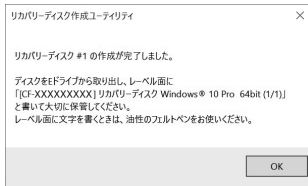


- ディスクの作成準備やディスクのチェックにそれぞれ 10分～20分かかる場合があります。
- ディスクへの書き込みが始まり、作成しているディスクの番号と作成状況が画面に表示されます。そのままお待ちください。外付け光学式ドライブからディスクを取り出したり、パソコンや外付け光学式ドライブに振動や衝撃を与えたりしないでください。
- 書き込みを中断したり、キャンセルしたりした場合は、同じ種類の未使用のディスクを使って再度作成してください。

6 リカバリーディスクを作成する

10 「下記ドライブでリカバリーディスクを作成します。」画面で、[OK]をクリックする。

11 ディスクでリカバリーディスクを作成する場合、「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。



- ボールペンなどペン先が硬いものは使わないでください。
- レーベルに記入する内容（一例）
 - ディスクの名前：リカバリーディスク
 - ディスクの番号（何枚中の何枚目）：「2枚中の1枚目」や「1/2枚」、「1枚中の1枚目」や「1/1枚」など、何番目のディスクかわかる内容を記入してください。必要枚数はモデルによって異なります。
 - 本機の品番：「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面または本体底面に記載されている「CF-」で始まる文字です。

12 ディスクでリカバリーディスクを作成する場合、[OK]をクリックする。

- ディスクのセットを促す画面が表示されたら、1枚目と同じ種類の未使用のディスクをセットして[OK]をクリックします。「リカバリーディスク#...の書き込み」画面で[OK]をクリックし、画面に従ってすべてのリカバリーディスクを作成してください。
 - 1枚目と異なる種類のディスクをセットすると、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。1枚目と同じ種類のディスクを使用してください。
- 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面が表示された場合は、手順**13**に進んでください。（2枚目以降のディスクを作成する必要はありません）

13 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面で、[OK]をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。

作成したリカバリーディスクは本機専用です。他のパソコンで使用することはできません。

リカバリーディスクのQ&A


質 問	対 策
リカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない	管理者のユーザーアカウントでWindowsにサインインし直してください。標準ユーザーではリカバリーディスク作成ユーティリティを起動することができません。それでも、リカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない場合は、Windowsを再起動してください。
	別のユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを起動している場合は、どちらかのユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを終了してください。リカバリーディスク作成ユーティリティは、複数のユーザーが同時に使用することはできません。
	「リカバリー領域の読み込みに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ一覧」をご覧ください。(⇒32ページ) SSD内にあるリカバリー領域が削除されていたり、SSDに何らかの問題が発生したりしている場合があります。
リカバリーディスクの作成に失敗した	動作確認済み(推奨)のディスクがセットされていることを確認してください。動作確認済み(推奨)のディスクについては、外付け光学式ドライブの説明書をご覧ください。推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
	ディスクが正しくセットされているか確認してください。外付け光学式ドライブの説明書をご覧ください。
	レンズやディスクが汚れていたり、ディスクが変形したりしていないか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> •汚れている場合は、レンズやディスクのクリーニングを行ってください。 •変形している場合は、新しいディスクに交換し、作成し直してください。

6 リカバリーディスクを作成する


エラーメッセージ一覧

リカバリーディスク作成中にエラーメッセージが表示された場合は、各画面で[OK]をクリックし、対処の説明に従ってください。

それでも、解決できない場合、または下記以外のメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

メッセージ	対処				
リカバリー領域の読み込みに失敗しました	<p>SSD内にあるリカバリー領域が削除されています。または、SSDに何らかの問題が発生しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> Windowsを再起動し、再度リカバリーディスク作成ユーティリティを起動して作成してみてください。 <p>再度エラーメッセージが表示される場合は、次の手順でリカバリー領域が削除されていないか確認してください。</p> <p>リカバリー領域 (OEM パーティション) の確認方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 画面左下のを右クリックし、[コンピューターの管理]をクリックする。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。 [ディスクの管理]をクリックし、[OEM パーティション]が表示されていることを確認する。 <table border="1" data-bbox="477 836 1296 904"> <tr> <td>EFIシステムパーティション</td> <td>(C:)</td> <td>回復パーティション</td> <td>OEMパーティション</td> </tr> </table> <p>上記と異なるSSD構成の場合は、リカバリーディスクを作成することができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSD内にリカバリー領域がある場合は、PC-Diagnosticユーティリティで[Storage xxxGB] (ストレージ) の診断を行ってください。 (➡『取扱説明書 活用ガイド』『ハードウェアを診断する』) 	EFIシステムパーティション	(C:)	回復パーティション	OEMパーティション
EFIシステムパーティション	(C:)	回復パーティション	OEMパーティション		
イメージファイルの作成に失敗しました	<p>SSD内にあるリカバリー領域が壊れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記の「リカバリー領域 (OEMパーティション) の確認方法」に従ってリカバリー領域を確認してください。 				
ディスクの書き込みに失敗しました	<p>書き込みに失敗しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ディスクの書き込み中に失敗した場合は、書き込み中のディスクは使用できなくなります。未使用の新しいディスクをセットしてください。 ディスクの書き込み中は、外付け光学式ドライブに振動を加えたり、移動しないでください。 				
標準デュアル チャンネル PCI IDE コントローラの取り外し中にエラーが発生しました	<p>リカバリーディスクの作成中にディスクを取り出そうとした可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ディスクが正しくセットされていることを確認し、やり直してください。 				
ディスクの書き込み中にDVDドライブが取り外されました	<p>リカバリーディスクの作成中に外付け光学式ドライブのドライブ文字を変更した可能性があります。</p> <p>または、外付け光学式ドライブを取り外した可能性があります。</p>				
ディスクの書き込み中にUSBドライブが取り外されました	<p>リカバリーディスクの作成中にUSBメモリー (市販品) のドライブ文字を変更した可能性があります。</p> <p>または、USBメモリー (市販品) を取り外した可能性があります。</p>				

7 アプリケーションをセットアップする

アプリケーションによりセットアップが必要な場合があります。セットアップの方法は、『取扱説明書 操作マニュアル』『アプリケーションソフト』をご覧ください。次のセットアップ手順は「i-フィルター」の例です。

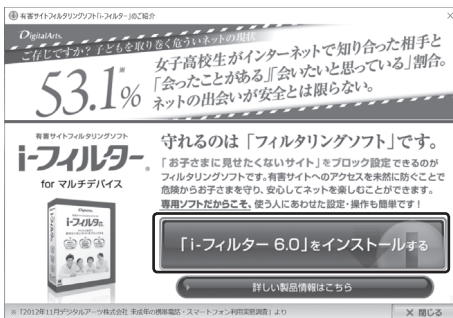
「i-フィルター」をセットアップする

30日の無料お試し付き「i-フィルター 6.0」（以降、「i-フィルター」と表記）を使うと、お子さまに見せたくないサイトへのアクセスを遮断したり、サイトの閲覧状況を確認したりすることができます。「i-フィルター」を使用するには、セットアップが必要です。

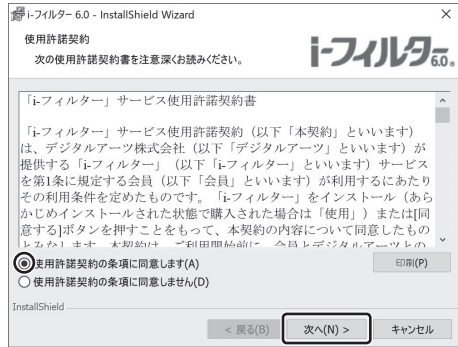
メモ

- 操作中に「セキュリティの警告」画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

- 1 管理者のユーザーアカウントでサインインする。
- 2 [c:¥util¥ifilter] フォルダー内の [if6_..._64bit] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックする。
- 4 [「i-フィルター 6.0」をインストールする] をクリックする。



- 5 「使用許諾契約」画面の内容をよく読み、[使用許諾契約の条項に同意します] をクリックして[次へ] をクリックする。

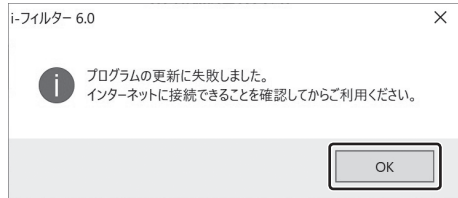


- 6 「インストール先のフォルダ」画面で[次へ] をクリックする。

- 7 [インストール] をクリックする。

デスクトップ画面にショートカットアイコンを作成する場合は、「デスクトップにショートカットアイコンを作成する」にチェックマークを付けてください。

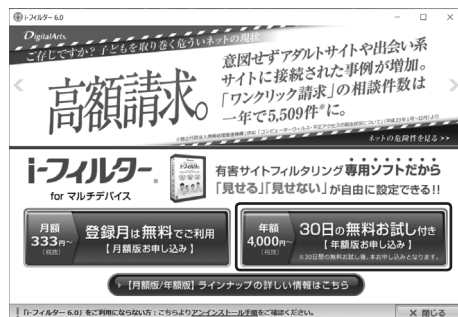
インターネットに接続していないと次の画面が表示されます。[OK] をクリックして閉じてください。



手順8の画面が表示されたら、セットアップは完了です。引き続き初期設定を行ってください。初期設定にはインターネットへの接続が必要です。

7 アプリケーションをセットアップする

- 8 [30日の無料お試し付き【年額版お申し込み】]をクリックする。



- 9 「[i-フィルター]の開始」画面で[新規ご利用の方]をクリックする。

- 10 「無料お試し版 お申し込み」画面で、画面の指示に従って必要事項を入力する。

- ① メールアドレスを入力する。
メールアドレスを入力した後、下段の[確認入力]にも同じメールアドレスを入力してください。
- ② 画面をスクロールして名前と管理パスワードを入力する。
 - 管理パスワードは、半角英数字で入力してください。「管理パスワード」にパスワードを入力した後、下段の[確認入力]にも同じパスワードを入力してください。
 - 大文字、小文字に注意して入力してください(区別されます)。

- 11 「[i-フィルター for マルチデバイス]利用規約をよく読み、[同意する]をクリックして[確認画面]をクリックする。

- 12 「お申し込み内容の確認」画面の内容を確認し、修正する必要がなければ[登録する]をクリックする。

修正する場合は[修正する]をクリックして入力してください。

- 13 「お客さま情報登録完了」画面に表示されている内容を確認し、メモを取る。

シリアルIDおよびメールアドレスは、各種手続きを行うときに必要です。絶対に忘れないようにしてください。

- 14 画面をスクロールして[設定する]または[閉じる]をクリックする。

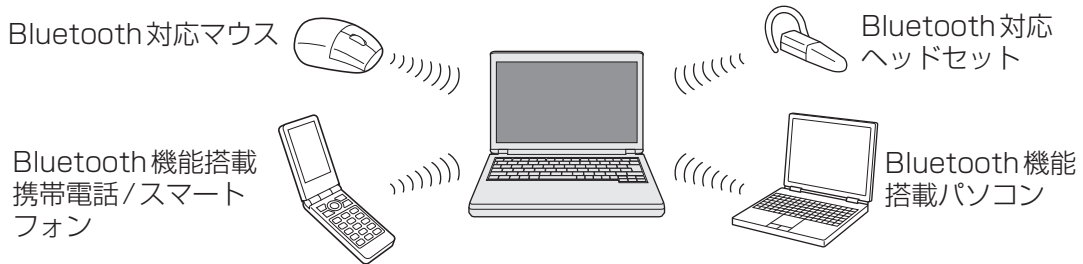
これで初期設定は完了です。
[設定する]をクリックした場合は、「ログイン」画面が表示されます。
フィルターデータや「i-フィルター」のプログラムは随時更新されています。
インストール直後は、24時間ごとに自動的にアップデートを実行する設定になっています。この実行間隔の設定は、変更することができます。

重要

- フィルタリングソフトを2つ以上インストールしている場合、同時に2つ以上のフィルタリングソフトを有効にしないでください。
フィルタリング機能が正しく動作しない場合があります。
- 本機に搭載されている「i-フィルター」は、セットアップした後30日間無償でお試しできます。
30日の無償お試し期間が終了すると、「i-フィルター」の機能が使えなくなります。
 - 継続して使用しない場合：
「i-フィルター」をアンインストールしてください。
 - 今後も継続して使用される場合：
申し込みが必要です(有償)。
[詳しい製品情報はこちら]をクリックし、画面に従って操作してください。

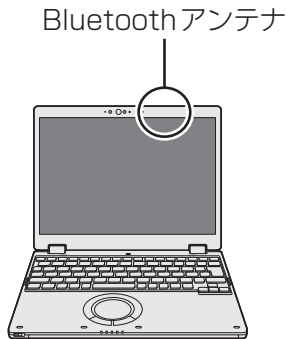
Bluetoothについて

Bluetoothとは、ケーブルを接続せずに他のBluetooth機器（パソコン、携帯電話/スマートフォン、ヘッドセット、マウス、アクセスポイントなど）とデータを交換する無線通信技術です。対応のマウスなどを使えば、ケーブルを接続することなく使用できます。



重要

- Bluetoothアンテナを経由して通信が行われます。アンテナ部を手でふさぐなど、電波を妨げるようなことはしないでください。




メモ

- 通信速度や通信距離は、他のデバイスの通信送受信や設置する環境などの周辺条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が長くなるにしたがって通信速度が低下する傾向があります。Bluetooth対応の機器どうしは近い距離で使用することをお勧めします。
- 電子レンジなどと同時に使用すると、通信速度が低下する場合があります。
- 無線LANと同時に使用すると、通信速度が低下する場合があります。

Bluetoothについて

Bluetoothの機能をオンにする

Bluetoothを使用する前に、Windowsの設定画面で[機内モード]を[オフ]、[Bluetooth]を[オン]にしてBluetoothの電源を入れてください。



詳しくは、『取扱説明書 操作マニュアル』「無線機能」の「無線機能の電源を入れる/切る」をご覧ください。

重要

- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、[無線設定]を選び[Enter]を押し、サブメニュー内の[Bluetooth]が[有効]に設定されていることを確認してください。
[無効]に設定していると、Bluetoothの電源を入れることはできません（初期設定は[有効]）。
(➡『取扱説明書 活用ガイド』の「セットアップユーティリティ」)


Bluetooth機器を追加する


Bluetooth機器の登録方法や接続/切断の方法は、インターネットに接続できる環境で次の手順でご確認ください。

- ① (画面左下のをクリック) -  (設定) - [デバイス] - [Bluetoothとその他のデバイス]をクリックする。
- ② [Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] - [Bluetooth]をクリックする。
- ③ 追加するデバイスをクリックして、表示された画面の内容に従ってBluetooth機器をペアリングする。
不要になったBluetooth機器の接続は、ペアリング済みのデバイスをクリックして[デバイスの削除]をクリックすると削除できます。

※ Bluetooth機器側の説明書もご覧ください。

BluetoothのQ&A

Bluetoothが 使えない	ユーザーの切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、Bluetoothが使えない場合があります。複数のユーザーがサインインしている場合は、すべてのユーザーをサインアウトした後、再度サインインして操作してください。それでも、正しく動作しない場合は、本機を再起動してください。
Bluetoothマウス 使用後、ホイール パッドでポインター を操作できない	(画面左下の  をクリック) - [Synaptics touchpad device utility for Panasonic PC]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする。]にチェックマークを付けていると、Bluetoothマウスが使用圏外に離れている状態でもマウスとして認識されたままになることがあります。 その場合は、ホイールパッドが無効のままになります。 ホイールパッドをお使いになる場合は、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする。]のチェックマークを外してください。

- 本機に内蔵のワイヤレスWAN機能を使うには、事前にサービス（データ通信に対応したプロバイダーとの契約）の申し込みが必要です。
- ワイヤレスWANを使うまでの手順やアプリケーションソフトの各種設定、nanoSIMカードのセキュリティなどについては、『取扱説明書 ワイヤレスWANの使い方』をご覧ください。

nanoSIMカードを取り付ける

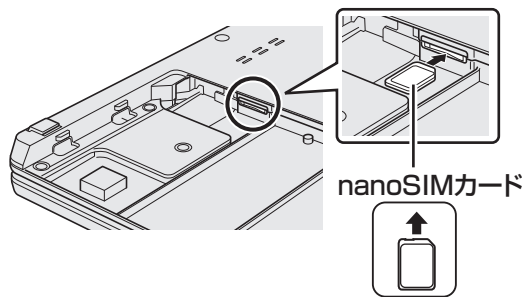
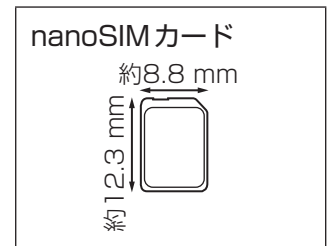
ご販売店のサービスなどを受けた場合、nanoSIMカードが本機に取り付けられている場合があります。



メモ

- SIMロックはかかっていません。

- ①本機の電源を切る。
- ②ACアダプターを外す。
- ③本体を裏返す。
- ④バッテリーパックを取り外す。(➡14ページ)
- ⑤nanoSIMカードを下図の向きにして、SIMカードスロットに挿し込む。
「カチッ」と音がするまでカードを押し込んでください。
- ⑥バッテリーパックを取り付ける。(➡14ページ)



重要

- ワイヤレスWANサービスを申し込む際、nanoSIMカードをお申し込みください。
- 間違ったサイズのSIMカードを申し込んだ場合は、SIMカードサイズの交換手続きをお願いします。
- nanoSIMカードの取り付けは、カードの向きに注意してください。
向きを間違えたり無理な力を加えたりするとカードが壊れることがあります。
- nanoSIMカードを取り外すとき
 - ①nanoSIMカードを押し込み、いったん手を離す。
カードが少し飛び出します。
 - ②飛び出したカードを引き抜く。
nanoSIMカードを挿し込んだ状態から無理に引き抜くと故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本機に取り付けしないでください。
故障の原因になります。

別売り商品

品名	ご注文時の品番
ACアダプター※1 (電源コード付き)	CF-AA6412AJS
バッテリーパック※2	CF-VZSU1MJS (7.6 V (リチウムイオン)、定格容量 5020 mAh)
プライバシーフィルター (タッチパネル非搭載モデル用)	CF-VPS12JS

別売り商品については、最新のカatalogやホームページなどでご確認ください。予告なく変更されることがあります。

※1 パソコン本体の付属品と同等です。

※2 消耗品

パナソニックグループのショッピングサイト「Panasonic Store」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「Panasonic Store」のWebページ (<https://ec-club.panasonic.jp/pc/>) をご確認ください。

動作確認済みの外付け光学式ドライブについては、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。

<https://askpc.panasonic.co.jp/work/>

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。下記品番以外のパソコンをお持ちの場合は、付属の『お知らせ』などで仕様を確認してください。Intel、インテル、Intel Core、Intel vProは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。

● 本体仕様

CPU	モデルにより以下のいずれかを搭載	
	CF-QV9U シリーズ	インテル® Core™ i5-10310U プロセッサ (インテル® vPro® テクノロジー 対応*1) (キャッシュ 6 MB*2、動作周波数 1.70 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 利用時は最大 4.40 GHz)
	CF-QV9M シリーズ	インテル® Core™ i5-10210U プロセッサ (キャッシュ 6 MB*2、動作周波数 1.60 GHz、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 利用時は最大 4.20 GHz)
チップセット	CPU に内蔵	
メインメモリー*2	モデルにより以下のいずれかを搭載	
	8 GB LPDDR3 SDRAM	
	16 GB LPDDR3 SDRAM	
拡張メモリースロット	なし	
グラフィックアクセラレーター	インテル® UHD グラフィックス (CPU に内蔵)	
フラッシュメモリードライブ (SSD)*3	256 GB (PCIe)	
	上記容量のうち約 15 GB をリカバリー領域、約 1 GB をシステム領域として使用 (ユーザー使用不可)	
表示方式	12.0 型 (3:2) WQXGA+ TFT カラー液晶 (2880 × 1920 ドット)	
内部 LCD 表示	2880 × 1920 ドット : 約 1677 万色	
外部ディスプレイ表示*4	1024 × 768、1280 × 768、1280 × 1024、1360 × 768、1366 × 768、1400 × 1050、1600 × 900、1600 × 1200、1680 × 1050、1920 × 1080、1920 × 1200 : 約 1677 万色 (以下 HDMI 出力のみ) 3840 × 2160 (30 Hz/60 Hz)、4096 × 2160 (30 Hz/60 Hz)、2560 × 1440	
本体 + 外部ディスプレイ同時表示*4	1024 × 768、1280 × 768、1280 × 1024、1360 × 768、1366 × 768、1400 × 1050、1600 × 900、1600 × 1200、1680 × 1050、1920 × 1080、1920 × 1200、2160 × 1440、2880 × 1920 : 約 1677 万色	
無線 LAN	Intel® Wi-Fi 6 AX201 IEEE802.11a (W52/W53/W56) / b/g/n/ac/ax 準拠*5 (⇒ 46 ページ) WPA3、WPA2-AES/TKIP 対応、Wi-Fi 準拠	
ワイヤレス WAN	モデルにより搭載または非搭載	
	搭載の場合 (⇒ 47 ページ)	
LAN*6	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	
Bluetooth	Bluetooth v5.1*7 (⇒ 46 ページ)	
サウンド機能	PCM 音源 (24 ビットステレオ)、インテル® High Definition Audio 準拠	
セキュリティチップ	TPM (TCG V2.0 準拠)	

仕様

指紋センサー		モデルにより搭載または非搭載
		タッチ式
カード スロット	SDメモリー カード スロット ^{*8}	(SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード対応/著作権保護技術対応/ UHS- I 高速転送対応/UHS- II 高速転送対応) × 1
	SIMカード スロット	(ワイヤレスWAN搭載モデルのみ) × 1
インターフェース		USB3.1 Type-Cポート(Thunderbolt 3対応、USB Power Delivery対応) × 1 ^{*9} 、 USB3.0 Type-Aポート × 3 ^{*10} 、LANコネクター (RJ-45) ^{*6} 、外部ディス プレイコネクター (アナログRGB ミニDsub 15ピン) ^{*4} 、HDMI出力端子 ^{*11} 、 ヘッドセット端子 (マイク入力+オーディオ出力) (ヘッドセットミニジャック 3.5 mm ^{*12} 、CTIA準拠)
内蔵キーボード/ ポインティングデバイス		OADG準拠キーボード (86キー)、キーピッチ：19 mm (横)/15.2 mm (縦) (一部キーを除く)/ホイールパッド
カメラ	解像度	Full HD 1080p
	有効画素数	最大 1920 × 1080ピクセル
顔認証		顔認証対応カメラ (IRライト1灯付)
マイク		アレイマイク
スピーカー		ステレオ
センサー		照度 (明るさ)
電源		ACアダプターまたはバッテリーパック
ACアダプター ^{*13}		入力：AC 100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz、出力：DC 16 V、4.06 A、 電源コードは100 V専用
バッテリーパック		7.6 V (リチウムイオン)、定格容量5020 mAh
バッテリー駆動時間 (JEITA 2.0) ^{*14}		モデルにより異なります。
		メモリー 8 GB 搭載モデル
		約 12.5時間
		メモリー 16 GB 搭載モデル
		約 12時間
バッテリー充電時間 ^{*15}		最大2.5時間 (電源オン状態) / 最大2.5時間 (電源オフ状態)
バッテリー残量保持期間 ^{*16}		満充電状態からの保持期間です。(➡41 ページ)
バッテリー残量表示補正 の所要時間		<ul style="list-style-type: none"> 満充電にかかる時間 最大2.5時間 完全放電にかかる時間 最大3.5時間
消費電力		最大65 W ^{*17} (社)電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく 定格入力電力値：39 W 23-J-1
外形寸法		幅273.0 mm × 奥行き209.2 mm × 高さ18.7 mm (突起部を除く)
質量 ^{*18}	パソコン本体	下記の値は、以下条件の場合です。 •ワイヤレスWAN非搭載/指紋センサー非搭載
		約0.879 kg (付属のバッテリーパック (約235 g) 装着時)
	ACアダプター	約220 g (電源コード (約60 g) 除く)


使用環境条件	温度：5℃～35℃ 湿度：30%RH～80%RH（結露なきこと）
ベースOS ^{*19}	Windows 10 Pro（日本語版）
Microsoft® Office Home and Business 2019 ^{*20}	モデルにより搭載、非搭載、またはオプション

● バッテリー残量保持期間^{*16}（下記の値は、満充電状態からの保持期間です。）

スリープ状態 （モダン スタンバイ） ※無線LANアクセス ポイント非接続時	スリープ後8時間自動休止状態設定時（工場出荷時） 約15日 ● 工場出荷時の設定では、スリープ状態（モダン スタンバイ）に入ってから8時間経過すると自動的に休止状態へ移行します。 この設定でのご使用をお勧めします。
	スリープ後自動休止状態無効時 約2.5日
	<ul style="list-style-type: none"> • 手動または自動でスリープ状態（モダン スタンバイ）に移行しても、OSの状態やアプリケーション仕様によっては、画面が消えたままでアプリケーション動作が継続される場合があります。 • スリープ状態（モダン スタンバイ）でバッテリー残量5%を下回ると、自動的に休止状態へ移行します。 • スリープ状態（モダン スタンバイ）中に、バッテリーパックとACアダプターを共に抜いて電力供給が絶たれた場合は保存していないデータは失われます。
休止状態	約18日
電源オフ	約18日 （Power On by LAN機能有効時：約4.5日）

● Panasonic PC設定ユーティリティについて

○：導入済み

見出し		項目	こんなときに使う	
設定	タッチパッド	ホイールパッド機能	ホイールパッドの機能を設定する	○
	ボタン/キー	Fnキー	Fnキーの設定を変更する	○
	USB	USB充電設定	電源オフ中のUSB充電の設定	○
	ネットワーク	無線LAN	無線LAN (IEEE802.11a)の有効/無効を切り替える	○
ユーティリティ		カメラ	カメラで動画や静止画を撮影する	○
		Support File Copy	サポートの対応や解析の際に使用する	○
サポート	マニュアル	マニュアル	画面で見るマニュアルを表示	○
	システム	システム情報	本機の使用状況を確認する	○
	バッテリー	バッテリー残量表示補正	バッテリー容量を正確に表示させる	○
	お知らせ設定	PC情報ポップアップ	<ul style="list-style-type: none"> •お知らせの確認 •お知らせ内容の設定 •通知方法の設定 	○
	トラブルシューティング	ファン制御	冷却ファンの回転を切り替える	○
	リカバリーディスク作成	リカバリーディスク作成	リカバリーディスクを作成する	○
		本アプリケーションの設定	「Panasonic PC設定ユーティリティ」の表示方法などを設定する	○

●その他の導入済みソフトウェア

○：セットアップ済み/セットアップ不要
 ■：セットアップが必要

こんなときに使う		アプリケーション名	
セキュリティ	有害サイトへのアクセスを防止する	「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版	■*21
パソコンの設定変更/状態確認	パソコンの各種設定をする	Aptio セットアップ*22	○
	ハードウェアを診断する	PC-Diagnosticユーティリティ*23	○
廃棄や譲渡時	SSDのデータを消去する	ハードディスクデータ消去ユーティリティ*24	○
カメラでの撮影	カメラで動画や静止画を撮影する	Panasonic PC Camera Utility	○

アプリケーション名		
マイクロソフト社のソフトウェア (一部のみ)	DirectX 12	○
	Microsoft® .NET Framework 4.8	○
	Microsoft® Internet Explorer 11	○
	Microsoft® Edge (WebページやPDFファイルを見る)	○
	Microsoft® Windows Media Player 12	○
その他のソフトウェア (一部のみ)	VIP Access for Desktop (インテル® IPT用アプリケーションソフト)	○

- ※1 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー (インテル® AMT) の機能をお使いになるには、セットアップユーティリティの[AMT 設定] で設定が必要です (➡『取扱説明書 活用ガイド』)。また、別途管理アプリケーションソフトが必要になります。
インテル® IPT をお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。
- ※2 1 MB = 1,048,576 バイト。1 GB = 1,073,741,824 バイト。
- ※3 1 MB = 1,000,000 バイト。1 GB = 1,000,000,000 バイト。1 TB = 1,000,000,000,000 バイト。OS または一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値で表示される場合があります。
- ※4 パソコン本体の外部ディスプレイコネクタは、パソコン用外部ディスプレイを接続するためのコネクタです。すべての周辺機器の動作を保証するものではありません。選択可能な解像度は、外部ディスプレイによって異なります。外部ディスプレイによっては、選択可能であっても正しく表示できない解像度があります。また、家庭用のテレビを外部ディスプレイとしてお使いの場合は、テレビに付属の取扱説明書で対応解像度をご確認ください。HDMI 対応ディスプレイを接続した場合、出力可能な最大解像度などの表示スペックは、接続機器の仕様により異なります。詳しくは接続機器の仕様をご確認ください。
- ※5 5 GHz 帯チャンネルを使用して本機と通信するには、W52/W53/W56 のいずれかに対応した無線 LAN アクセスポイントをお使いください。IEEE802.11n/ac/ax 準拠モードで通信するには、本モードに対応した無線 LAN アクセスポイントが必要です。
また、本機および無線 LAN アクセスポイントの暗号化設定を AES に設定する必要があります。詳しくは無線 LAN アクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- ※6 コネクタの形状によっては使用できないものがあります。伝送速度は、理論上の最大値であり、実際のデータ伝送速度を示すものではありません。使用環境により変動します。
- ※7 Bluetooth 対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ※8 容量 2 GB までの当社製 SD メモリーカード、容量 32 GB までの当社製 SDHC メモリーカード、容量 128 GB までの当社製 SDXC メモリーカードの動作を確認済み。
すべての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。
- ※9 USB3.1 (Gen1/2)、USB Power Delivery、Thunderbolt™ 3、DisplayPort Alternate Mode に対応しています。
USB Type-C™ 対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- ※10 USB 1.1/2.0/3.0 対応。USB 対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ※11 HDMI 対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ※12 ミニジャック (3.5 mm) 対応のすべてのヘッドセットの動作を保証するものではありません。
- ※13 本製品は AC100 V 対応の電源コードを使用するため、AC100 V のコンセントに接続して使用してください。(➡4 ページ)
- ※14 「JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver.2.0)」による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。
- ※15 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
- ※16 バッテリー残量保持期間は目安です。パソコンの設定、直前の動作、環境等により変動することがあります。
- ※17 パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約 0.5 W の電力を消費します。
AC アダプターをパソコン本体に接続してなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、AC アダプター単体で最大 0.3 W の電力を消費します。
- ※18 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
- ※19 お買い上げ時にインストールされている OS、ハードディスクリカバリー機能またはリカバリーディスクを使ってインストールした OS のみサポートします。
- ※20 Microsoft® Office Home and Business 2019 は、日本マイクロソフト株式会社にてサポートを行っております。製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。
<https://support.office.com/>

20-J-1

※21 「c:\¥util¥ifilter」フォルダー内の [if6_…_64bit] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックし、セットアップしてください。

※22 本書では「Aptio セットアップ」を「セットアップユーティリティ」と表記しています。

※23 起動方法は「ハードウェアを診断する」(➡『取扱説明書 活用ガイド』) をご覧ください。この機能には (株) ウルトラエックスの技術を使用しています。

※24 リカバリーディスクから実行するユーティリティです。

● 無線LAN

データ転送速度 (規格値) ^{※25}	IEEE802.11a : 54 Mbps IEEE802.11b : 11 Mbps IEEE802.11g : 54 Mbps IEEE802.11n : HT40 : 300 Mbps HT20 : 144.4 Mbps IEEE802.11ac : VHT160 : 1.73 Gbps VHT80 : 866.7 Mbps VHT40 : 400 Mbps VHT20 : 173.3 Mbps IEEE802.11ax : HE160 : 2.4 Gbps HE80 : 1.2 Gbps HE40 : 574 Mbps HE20 : 287 Mbps
準拠規格 ^{※26}	ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a (W52/W53/W56)、IEEE802.11b、IEEE802.11g、 IEEE802.11n、IEEE802.11ac、IEEE802.11ax (無線LAN標準プロトコル)
伝送方式	OFDM方式、DS SS方式
通信距離 ^{※27}	5 GHz帯チャンネル : 見通し約30 m 2.4 GHz帯チャンネル : 見通し約50 m (アクセスポイントとの通信時)

※25 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
表示の数値は、本機と同等の構成を持った機器と通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※26 IEEE802.11ax、11ac、11n、11g、11b、11a準拠の表記は、他の準拠製品との接続性を保証するものではありません。

※27 通信距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

● Bluetooth

規格	Bluetooth v5.1	
	Classic	Low Energy
転送速度	1 Mbps ~ 3 Mbps	1 Mbps
伝送方式	FHSS方式	
使用無線チャンネル	0 ~ 78チャンネル	0 ~ 39チャンネル
RF周波数帯域	2.402 GHz ~ 2.480 GHz	
対応プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> • A2DP (Source) • AVRCP (Target) • HCRP (Client) • HFP (AG) 	<ul style="list-style-type: none"> • HID (Host) • OPP (ClientおよびServer) • PAN (User) • SPP (DevAおよびDevB)
		<ul style="list-style-type: none"> • HOGP (Host)


●ワイヤレスWAN（搭載モデルのみ）

通信速度	データ通信 •受信 LTEエリア：最大300 Mbps 3Gエリア（DC-HSPA+/W-CDMA）：最大42 Mbps •送信 LTEエリア：最大50 Mbps 3Gエリア（DC-HSPA+/W-CDMA）：最大5.7 Mbps
対応バンド	LTEエリア：Band 1,3,8,18,19,21,28,41 3Gエリア（DC-HSPA+/W-CDMA）：Band 1,6,8,9,19

- SIMロックはかかっていません。
- 本機は技術基準認証済みの無線装置を内蔵しています。
- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。
ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。ご契約のSIMのサービス内容によって異なります。
- 対応バンドは、ご契約のSIMのサービス内容によって異なります。

電源プラン一覧

電源プランの 名前	特徴	利用シーン
パナソニックの 電源管理	工場出荷時の設定でお使いになった場合の省電力レベルや特徴を説明しています。 省電力効果のレベルは動作環境などにより変動します。	通常の使用時に適しています。
バランス	必要に応じて消費電力を増やしたり節約したりします。 [パナソニックの電源管理]とは、[ワイヤレスアダプターの設定]などが異なります。	通常の使用時に適しています。

電源プランの詳細設定の変更方法などについては、『取扱説明書 操作マニュアル』[レッツノート活用]の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾書

パナソニックエンドユーザーライセンス条項


第1条	権利	お客さまは、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のストレージ、付属のマニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます。インテル製ソフトウェアを含みます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権、その他一切の権利は弊社、弊社のライセンサーまたはその他ソフトウェアに関して権利を保有する第三者が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第2条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第3条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした1回に限定されます。
第4条	使用コンピューター	本ソフトウェアは、本コンピューター1台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。
第5条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第6条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第7条	免責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第6条に限りです。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。 なお、本ソフトウェアは、事前の通知なく、変更、更新、強化またはバージョンアップデート（以下、併せて「アップデート」）される可能性があります。また、アップデートに伴い、本ソフトウェアの仕様変更される可能性があります。 本条及び他のパナソニックエンドユーザーライセンス条項の内容をご了承いただいた場合のみ、本ソフトウェアのご利用を開始してください。
第8条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第9条	準拠法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第10条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。
第11条	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 本ソフトウェアは、将来的な製品の品質向上のために、ご使用中の製品から以下の情報を、個人を特定できない形で弊社サーバーへ収集しています。 <ul style="list-style-type: none"> - コンピューターの品番 - 製造番号 - PC使用状況 - グローバルIPアドレス（位置情報） - バッテリーの個体情報 ソフトウェアの更新により上記以外の情報の収集を行う場合があります。収集している情報は下記サイトを参照してください。 個人向け：https://panasonic.jp/cns/pc/re-mo/ 法人向け：https://panasonic.biz/cns/pc/info/re-mo/index.html 収集した情報を分析し、品質改善のために必要なソフトウェア等の更新を行う場合があります。 万一、リコール対象（無償で点検・修理、または交換などを行うこと）になった場合は、本情報を別途ご提供頂いている個人情報と合わせて使用させて頂くことがあります。また、裁判所、検察庁、警察、これらに準じる公的機関より要請を受けた場合、または法律上必要な場合には、本ソフトウェアで収集した情報を開示することがあります。収集した情報は上記以外では、同意を得ずに使用することはありません。 本ソフトウェアは1時間に1度、弊社サーバーへ情報を発信しており（電源オン状態のみ）、通信費用が発生します（月間0.005GB程度）。通信費用はお客さまのご負担となります。これらに同意頂けない場合、情報収集を行わなくすることができます。設定方法は「取扱説明書 基本ガイド」「電源を入れる」を参照してください。
第12条	プライバシー	お客さまの個人データのお取り扱い、また、本コンピューターに搭載のソフトウェア（本ソフトウェア）のプライバシー基準については、下記サイトにてご説明いたします。各ソフトウェア開始前に必ずご確認のうえ、ご了承頂いた場合のみ、各ソフトウェアのご利用を開始してください。 https://pc-dl.panasonic.co.jp/public/privacy.pdf

ソフトウェア使用許諾書

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、

 『取扱説明書 操作マニュアル』「はじめに」 「ソフトウェアライセンスについて」のライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使い方・お手入れ・修理などは…

▼お買い上げの際に記入されると便利です

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください


販売店名		
電 話	()	—
お買い上げ日	年	月 日

●海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売り品の供給は行っておりません。

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるときは…

『取扱説明書 活用ガイド』の「困ったとき」および画面で見る  『困ったときのQ&A』に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、パナソニック 修理受付デスクへご連絡ください。

弊社では、Microsoft 社の方針に基づき、工場出荷時および修理時にインストールされる Windows 10 のバージョンを順次最新バージョンに変更しております。
OSバージョンの切り替えおよび関連事項などの詳細については、次の Web ページをご覧ください。
<https://panasonic.biz/cns/pc/info/win10/index.html>

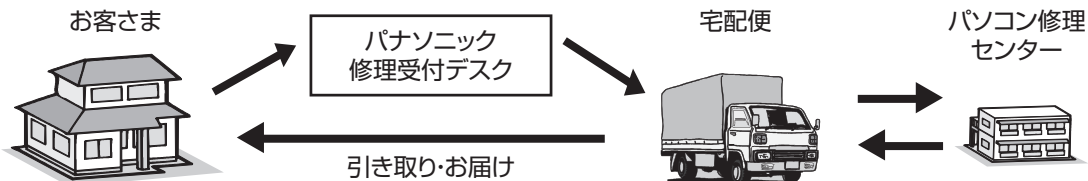
付属の『修理依頼書』に依頼内容をご記入のうえ、修理されるパソコンに添付してください。
『修理依頼書』がない場合はお買い上げ日と次の内容をご連絡ください。

- 製品名 パーソナルコンピューター
- 品 番 CF-
- 故障の内容 (できるだけ具体的に)
- SSD 内のデータのバックアップおよびそのデータの消去状況
- SSD の初期化への同意
- 有償修理のお客さまへ (無料修理のお客さまは不要です) : 修理限度額の有無

本製品は引き取り修理サービスを実施しております。

引き取り修理サービスとは

修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスです。



●保証期間中は、保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、パナソニック 修理受付デスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。

また、出張修理 (オンサイト) サービスもご希望により有料で対応可能です。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 [ただし、バッテリーパックは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。]

保証とアフターサービス（よくお読みください）

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

送料 修理品を引き取り、またはお届けする費用

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、このパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙のお客様ご相談センター、修理受付デスクにご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客さまの個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パソコンを廃棄または譲渡するときには、パソコン内に記録されているお客さまの重要なデータが流出するというトラブルを回避するために、必ずデータ消去を行ってください。データ消去の手順については、『取扱説明書 活用ガイド』の「パソコンの廃棄・譲渡時におけるデータ消去について」をご覧ください。

本機を廃棄・譲渡する際のデータの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。

- パナソニックのWebページ

(https://panasonic.biz/cns/pc/recycle/product_recycle/data_delete_office.html)

- パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル ☎ 0120-873029）

- リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

事業系パソコンのリサイクルについて

事業系使用済みパソコンの回収・リサイクルについては、下記Webページをご覧ください。

https://panasonic.biz/cns/pc/recycle/product_recycle/office.html

消耗品・有寿命部品について

本機の部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。本機を長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック	<ul style="list-style-type: none">•お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。•保証期間内でも有償です。
有寿命部品	フラッシュメモリードライブ (SSD) LCD (液晶ディスプレイ) 内蔵キーボード ACアダプター リチウムコイン電池 ファン	<ul style="list-style-type: none">•修理による再生ができない場合 (部品の寿命) に交換する部品です。•保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 <p>※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間/1日、250日/1年の使用で約5年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります (有償になる場合があります)。</p>

メモ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニック パソコンサポート総合サイト
<https://askpc.panasonic.co.jp/index.html>

パナソニックパソコンお客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-873029** パナソニック

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。
・上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)7634-8459

365日／受付9時～20時
(パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
※中古製品および発売日から5年を越えた製品に対する技術相談料は有料です。

(2020年8月現在)

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理受付デスク

電話 フリーダイヤル  **0120-05-8729**
フリーダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1911

F A X ナビダイヤル (全国共通番号)  **0570-00-8742**
ナビダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1912

受付時間 9時～21時
年末年始(12/30～1/4)を除く

・有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社 モバイルソリューションズ事業部

〒540-8553 大阪府大阪市中央区城見2丁目2番33号

© Panasonic Corporation 2020

Printed in Japan

SS0920-0
DHQX1710ZA/J1

